

一段落したところで一週前にチャオ会員が作っておいたお茶を入れて、皆で飲みました。
子どもたちからは「あまい!」「いい香り!」「おいしい」との評価をもらいました。
今回の体験で膳所茶を知ってもらえたと思います。(O.K)



茶摘み



茶もみ

装飾部会 アトリウム飾り付け「どうぶつたちのオリンピック」

令和3年3月19日(金曜)

今回は「東京2020オリンピック」にちなんだ飾り付けです。
動物たちが、いろんなスポーツを力いっぱいがんばっています。
「エイッ!」「それ!」「チョレイッ!」と、気合いの入った声が聞こえてきそうではありませんか?

スポーツをする人も見る人も、安心して存分に楽しめる日が早く来ますように、と願いながら制作しました。



飾り付け作業

飾り付け完了

「春の花のフラワーアレンジメント」

令和3年2月16日(火曜)

マナちゃんセミナー「春の花のフラワーアレンジメント」を開催しました。検温、手指消毒、換気などコロナウイルスへの対策をとり、受講者人数も絞り3回に分けて実施しました。

チューリップ、ガーベラ、スイートピー、スプレーバラ、など色とりどりのたくさんの花を使って、アレンジメントを作りました。

講師の岩見理沙子さんから、花材の紹介、オアシスの扱い方、基本的なアレンジメントの作り方などの説明を聞き、その後は各自で作りました。最後はラッピングの方法も教えていただき、花屋さんのような仕上がとなりました。

まだまだ続くコロナ禍の中ですが、色鮮やかな春の花々を前に心はずむひとときを過ごし、気持ちも軽くなりました。



花材や作り方の説明



出来上がりました



ラッピング

全体研修会「しめ縄づくり」

令和2年12月24日(木曜)

お正月を前に、しめ縄づくりをしました。講師の上村先生に、縄の編み方や手順、コツを説明していただき、その後各自で縄織りを。経験者はすぐに勘を取り戻し、手際よく仕上げたり、さらに太い縄に挑戦したりしていました。初めての人は、最初はきつく撚りすぎた2つの束が均等にねじれなかったりしましたが、上村先生に教えていただきながら徐々に美しく仕上げるできるようになりました。

ご質問は
こちらから!



縄が出来上がると、松や稲穂、水引などをあしらって、リースなどに仕上げました。手作りのしめ縄を飾って、すがすがしい気持ちで新しい年を迎えたいと思います。

チャオでは毎年、マナちゃんセミナーで「親子でしめ縄づくり」を開催していましたが、今年度はコロナウイルスの影響でこの事業の開催は見送りしました。来年は、多くの皆さんにしめ縄づくりを楽しんでもらえることを願っています。



力を込めて、心を込めて。



出来上がったしめ飾り

装飾部会 アトリウム飾り付け「オズの魔法使い」

令和2年12月18日（金曜）

竜巻に吹きあげられた少女ドロシーは、愛犬トトとともに不思議な国へ舞いおります。そして、知恵が欲しいカカシ、勇気が欲しいライオン、心が欲しいブリキの木こりに出会い、一緒に旅をします。

「オズの魔法使い」は、120年も前に出版され、今も子どもたちに大人気のお話で、アニメや映画、ミュージカルにもなっています。「どんなお話だったかな?」と思い出しながら、ちょっと足を止めて見ていただけたら嬉しいです。

コロナウイルスの感染対策をとりながら、3か月かけてこつこつと制作しました。どんな材料を使おうか、どう作ったら軽くて丈夫かな…と知恵を絞りながら作業をしています。飾り付けを終えて作品を見上げるときには、何とも言えない達成感があります。



飾り付け作業



飾り付け完了

マナちゃんセミナー「お正月の切り絵作り」

令和2年12月10日（木曜）

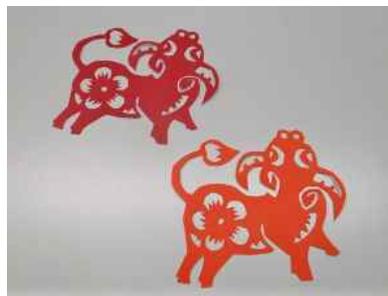
今年度1回目のマナちゃんセミナーを開催しました。お正月のおめでたい図柄や来年の干支にちなんだ図案を型紙にし、切り絵を作りました。

チャオ会員が講師を務め、初めに材料・用具、切るときのコツ、アレンジのヒントなどを説明しました。型紙や色紙を選んだらその後は全員切り抜き作業に没頭。しんと静まりかえっていました。切りにくい箇所があったり、切り残しがあったり、指に力が入って痛くなったり、ということもありましたが、素敵な作品が出来上がりました。

参加者の皆さんからは、「一つのこと集中するこういう時間って、心の癒やしになりますね。」「大変やけど楽しいです!」「はがきに貼って、孫に送ります!」などの声が聞かれました。コロナ禍で心のゆとりを失いがちな毎日ですが、よい時間を過ごしていただけたようで嬉しかったです。



黙々と切り抜きます



来年の干支にちなんで

琵琶湖博物館見学（総合サポート部会・部会研修）

令和2年12月2日（水曜）

6年をかけてリニューアルされた琵琶湖博物館を見学しました。

400万年前に誕生した琵琶湖の歴史が、自然や生き物、人の暮らしなどを通してわかりやすく展示されています。私たちの暮らしの姿や、おもしろさを体験することができます。また屋外には、木々の間を歩いて巡る「樹冠トレイル」があり、広大な自然を観察したりすることができます。時間を忘れてしまうほど楽しく見学しました。





世界初となる半骨半身のゾウの展示



見学を終えて

木工教室「丑年の絵馬を作ろう」

令和2年12月1日（火曜）

チャオでは、各部会がそれぞれの持つスキルを活かして、会員向けに年一回研修等を企画しています。今回は、装飾部会による木工教室です。電動糸鋸機を使って来年の干支である牛の絵を切り抜き、絵馬を作りました。

電動糸鋸機が初めての人は、直線や曲線を切る練習をしてから取りかかりました。今回の図案は細かい部分や急な曲線もあって少々むずかしく、初心者も経験者も、真剣な表情で慎重に切っていました。切り抜いたあとは、丁寧に紙やすりで磨き、思い思いに彩色して、個性あふれるすてきな絵馬が出来上がりました。明るい気持ちで新しい年を迎えることが出来そうです。



電動糸鋸機で切り抜き



しっかり押さえて慎重に



出来上がった丑年の絵馬

「ミニ・サイエンス屋台村2020」に出展

令和2年11月23日（月曜）

「ミニ・サイエンス屋台村」が開催されることになり、科学館から参加要請があったとき、「えっ!!」と思いました。しかしコロナ禍で何もかも中止のなか、参加することに意義があると思い参加を決めました。

当日参加してみると、各ブースにこれ以上コロナ対策があるかというほど、消毒液、フェイスガード、などなど、いっぱい、いっぱい。

100名の人々を対象に10ブースの出展があり、私たちは「紙コップのロケットを飛ばそう」を用意しました。子ども達の作る姿、ロケットをとばすとき、飛んだ時、びっくりして目をつぶる姿のかわいさや、楽しそうに競争している姿に、楽しさのおすそ分けをもらいました。参加した喜びを感じることが出来た1日でした。



紙コップのロケット



楽しく作って飛ばしました

花壇の植替えをしました

令和2年11月17日（火曜）

環境部会は年間2回、花壇、プランターの植え替えを行い、維持管理を行っています。

花壇のレイアウトは事前に会員が考え設計図を作成し、1週間前には土づくりをしました。

今回の花壇は、お正月に向けて中央に葉ボタンを配置し、その周囲にノースポール、パンジー、デージーを植えました。

プの球根も植え込みました。プランターにも、パンジー、葉ボタン、デージー、ナデシコなどを植えました。

色とりどりの花が咲きそろふことを楽しみに、お世話をがんばりたいと思います。

ご質問は
こちらから!





花壇に植え付け



プランターに植え付け



植え付け完了

「押し花アート」教室（市民対象）

令和2年10月27日（火曜）

環境部会による自主企画「押し花アート」教室を開催しました。会員2名が講師を務め、作業手順やポイント、押し花の作り方などの説明をしました。パンジー、アジサイ、キバナコスモス、レースフラワーなど、色鮮やかな押し花は、環境部会の会員が、センターで育てた花や持ち寄った花を押し花にし、準備しました。

彩りや配置を考えてから、はがきの粘着面にひとつずつピンセットで花を置き、和紙をかぶせてレジンを塗り、乾いたら完成です。参加者の皆さんは、花の色や形をよく見て、どの花をどう組み合わせるか考えながら、じっくりと作品を作り上げていました。コロナ禍の中ですが、心華やぐひとときを過ごすことが出来ました。



組み合わせを考えながら



ピンセットで丁寧に



できあがりしました

会員向け企画「グラウンド・ゴルフでリフレッシュ」

令和2年10月5日（月曜）

チャオには3つの部会があり、各部会がそれぞれの持つスキルを活かして、会員向けに年一回研修等を企画しています。

今回は、総合サポート部会による企画で、矢橋帰帆島のグラウンド・ゴルフ場にてプレーしました。初体験の人もいれば腕に自信のある人もいましたが、声援を送ったり一緒に悔しがったり…和気あいあいと、3コース24ホールを回りました。

コロナ禍の中、3密対策をとりながらでしたが、よく歩き身体を動かして、心身ともにリフレッシュできました。



装飾部会 アトリウム飾り付け「西遊記」

令和2年9月30日（水曜）

三蔵法師が、孫悟空、猪八戒、沙悟浄をお供に、経典を求めて天竺への旅をする物語「西遊記」が今回のテーマです。

コロナウィルスの影響で、9か月ぶりの飾り付けとなりました。活動休止期間もあり、活動再開から3か月。登場人物、背景、小道具など、各自工夫しながら、また知恵を出し合いながら、コツコツと制作しました。

これからもしっかりと感染対策をとりながら、次回作に向けてがんばって制作します。



飾り付け作業





「西遊記」完成

全体研修会「麒麟が来る 明智光秀と坂本」

令和2年9月28日（月曜）

「大河ドラマ 麒麟が来る」で話題の比叡山坂本と明智光秀ゆかりの西教寺を訪ね、歴史文化の研鑽を図りました。

会員がガイドを務め、穴太衆積石垣、日吉大社、西教寺、生源院等を巡りました。コロナ対策に気を配りながらも、さわやかな秋晴れのもと、興味深い話が聞けて有意義な研修となりました。また、コロナの影響で行事も減る中、久々に顔を合わす会員もいて親睦を図ることもできました。



西教寺本堂前にて



生源寺にて

花壇・プランターの植え替えを行いました

令和2年6月16日（火曜）

環境部会では、春・秋の年2回センター玄関前の花壇・プランターの植え替えを行い、維持管理を行っています。

今年も5月に春花壇の植え付けを予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため1か月遅れての実施となりました。花壇には、ペゴニアとジニア、プランターにはペゴニア、ゼラニウム、ガザニア、ゴーヤ等の苗を植えました。暑い中、マスクをつけ3密を避けての作業でしたが、花壇やプランターがやっときれいに整って、ほっとしました。これから水やりなどのお世話を続けていきます。

チャオは、令和2年4月より活動を休止しておりましたが、令和2年6月から活動を再開しました。感染防止対策を十分にとりながら、楽しく活動していきたいと思っています。



花壇に花の苗を植え付け



プランターに植え付け



植え付け完了

作品が焼き上がりました。 装飾部会自主企画「陶芸教室」

令和2年3月3日（火曜）

令和1年31日に作陶した作品を、素焼き、施釉、本焼きし、令和2年3月3日に窯出しをしました。花器、皿、カップ、小鉢、箸置きなど思い思いに作った作品が、どれも素敵に焼き上がりました。

みなさん自分の作品を満足げに手に取り、大事に持ち帰っていただきました。

初めて陶芸をされる方も多かったです、

「初めてなのにこんなのができるとは思わなかった！」

「すごく楽しかったです。」

「このお皿に和菓子のせていただきます。」と、

喜んでいただくことができ、部員一同うれしく思っています。

